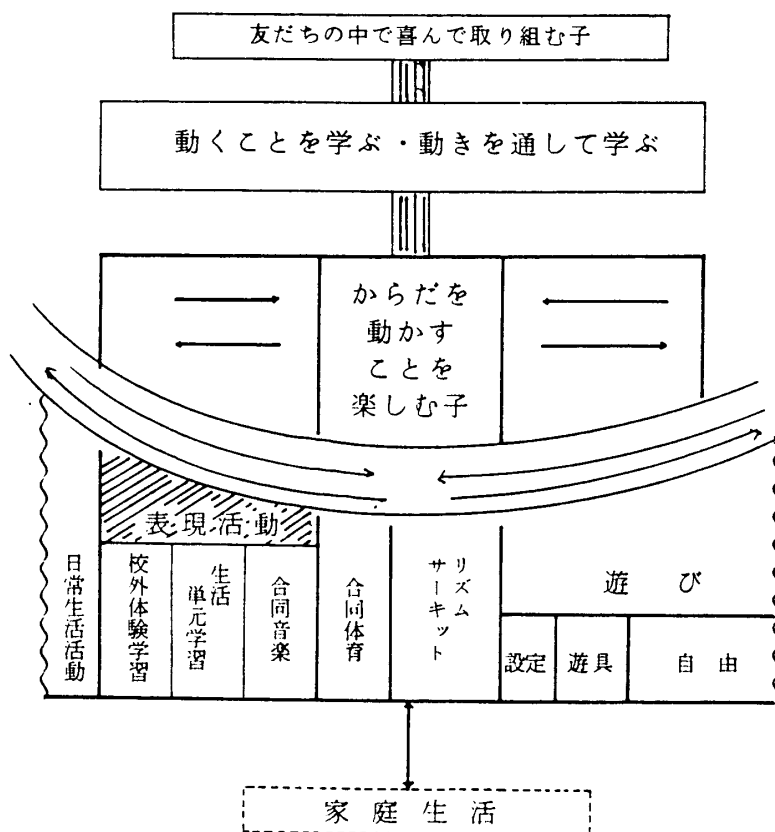


## 【5】 本年度の取り組みの基本の方針

63年度は主として、リズム・サーキット、合同体育、合同音楽を中心として取り組んできた。その結果として、(1)の実態把握のMEPAの部分でも触れているように筋力や持久力で、また運動能力テスト等で徐々にではあるが変化が見られだしている。しかし我々がめざしているのは体そのものづくりではなく、体を使いこなす力をも含めたものであることは既に述べている。そこで、昨年度の取り組みを継続しながら本年度は本校小学部の指導形態で一番大きな位置を占めている生活単元学習におけるからだづくりについても考えていこうとした。

からだづくりのための子どもたちの活動を支えるもの、子どもたちの表現しようとする意欲があるのではないか。そして、その表現しようとする意欲づくりのたぐいとして現在の小学部の子どもたちの発達段階からして「みたてつもり活動」が有効であると考えた。

そこで、各指導形態のになう役割とそれらのかかわり方の構想図の中に表現活動を組み入れた。



各指導形態のになう役割とそれらのかかわり方及び構想図

この構想図は直接のからだの指導に関わるリズム・サーキット、合同体育、合同音楽等で培われたからだ、日常生活や遊びの中で生かされ、また逆に校外体験学習や遊びがからだづくりの意欲を押し上げ、これらが互いに関連しあって小学部の研究テーマに迫っていくことを表したものである。